

令和7年度(2025年度)学校評価

学校番号72

長野県木曽青峰高等学校 定時制

学校教育目標	重点目標
新しい生き方、新しい社会の実現を目指し、 自らを、地域を、社会を re デザインする人を育てる。 (re デザイン:繰り返し描き実現して行く) 〈生徒育成方針〉 ○基礎学力をベースに人生を切り拓く知識・技能を身に付け、自分や地域・社会の未来をデザインすることができる人。 ○コミュニケーションを大切にし「自者と他者の良さを互いに認め」協調して物事に取り組み、自ら考え・判断する力を養い、将来地域社会の一員としての役割を果たすことのできる人。 ○学習や特別活動（生徒会活動・クラブ活動・ボランティア活動）に主体的に取り組み、自己の能力を高め、自己の可能性を伸ばげようと、繰り返しチャレンジを続けることができる人。	① いじめ・体罰などのない安心かつ安全な学校づくりを進める。 ② 生徒一人一人の発達段階に合わせた進路希望をサーチし、自己肯定力を持ち主体的に自己の到達点を定めた学びができる生徒の育成を、様々な機会を活かし進める。 ③ 地域社会や地元の教育機関とつながり、開かれた学校を目指しながら、生徒自身が地域社会に参画し貢献できる環境を活用し、個人と社会のWell beingを実現させる。

評価の材料・基準

A. アンケート・評価 【 ア 生徒・保護者 イ 教職員 ウ 学校評議員 エ その他 】
B. 成績 C. データ D. 活動などの状況 E. その他

対象	評価項目(目標番号)		評価の観点	評価の材料・基準
学習指導	授業内容（補充授業を含む）の充実と出席率の向上	① ②	授業内容、進度などに生徒が満足しているか。 生徒の学習実態を正確に把握し、基礎的な力を育み、さらに伸ばすような授業にしようとする工夫と改善がなされたか。 基礎学力の教育を単なる学力指導とせず、社会自立に向け必要な土台として位置づけられたか。	A-アイ B C D
進路指導	進路目標の明確化と進路実現	② ③	保護者も交えた話し合い等を通じて、労働の意義・職業観等を学んだ上で、自身の進路目標を定められているか。 進路実現に向けて、早い段階から考えさせることができたか。 卒業する生徒の進路希望を実現できたか。	A-アイ C D
	キャリア教育の推進	② ③	生徒自身が他人の考えや立場を理解し、自分自身の考えを伝えることが出来るようになったか。 学ぶこと、働くことの意義を理解し、社会人としての将来設計が出来るようになったか。 自分の将来の夢をもち、その実現に向けて何をすべきか考えることが出来るようになったか。	A-アイ C D
自主活動	クラブ・生徒会活動等自主活動の活性化	② ③	生徒の自主活動を支援する態勢は整っているか。 蒼陵祭の企画、運営をはじめ各委員会の活動や生徒会行事に対して自主的・積極的に取り組めるように支援できたか。	A-アイウ D
生活指導	基本的社会性をもった人間の育成	③	挨拶をはじめ、声かけ等を通してコミュニケーション能力の向上に日頃から手を入れているか。 校舎の内外を問わず、社会的規則と常識を生徒自身が身に付けるような指導を継続しているか。	A-アイウエ D
	全職員による生徒の状況把握（情報の共有）	① ② ③	学校生活で気がかりな点の見られる生徒について状況を把握しているか。 いじめなどのない健全な人間関係ができているか。	A-アイ C D
	相談・支援体制の充実発展	① ② ③	カウンセリングなど生徒の悩みや要望を受け止められる体制が整備されているか。 生徒の実態を把握し、支援の必要な生徒に対し適切な指導がおこなえたか。 スクールカウンセラーと緊密な連携をとることができたか。 職員研修の充実が図られているか。	A-アイ C D
	家庭・地域社会との連携	① ③	家庭との連絡を密に取れているか。 地域社会の関係機関との情報交換を行い、生徒の指導に活かされているか。	A-アイウエ D
全般	緊急時保護者への連絡体制の完備	①	クラス・クラブでの連絡体制が整い、それが実際に機能しているか。	A-アイ C D
	学校ホームページ・パンフレットの充実	③	入試選抜、学校行事の内容など、地域に必要な情報を発信できているか。	A-アイウエ D
	授業等の公開	③	保護者、地域住民等に対する授業公開ができたか。 地域に開かれた学校づくりができているか。	A-アイウエ D